

久喜市立郷土資料館だより

ふ え ね
笛の音 創刊号

創刊にあたって

当館は平成 10 年 8 月、鷺宮町立郷土資料館として開館しました。平成 22 年 3 月に久喜市、菖蒲町、栗橋町及び鷺宮町が合併して久喜市が誕生したことにより、当館は久喜市立郷土資料館となりました。平成 24 年 3 月に常設展示の改修を行い、名実ともに久喜市の郷土資料館となって今日に至ります。

当館はこれまで、市の広報紙やホームページ等を通じて情報発信を行ってきましたが、より多くの情報を市民の皆様にお届けするため、このたび『久喜市立郷

土資料館だより『笛の音』を創刊しました。

久喜市では、国指定重要無形民俗文化財となっている鷺宮催馬楽神楽を筆頭に、提燈祭りをはじめとした山車行事、各地区の獅子舞など伝統的な祭り・行事が盛んに行われています。それらに共通する楽器として笛があります。そのため久喜市の伝統文化を象徴するものとして、本紙を『笛の音』と名付けました。

これから様々な情報を発信していく『笛の音』にご期待ください。

視覚的に縄文時代を紹介した「地獄田遺跡展」

平成 26 年 10 月 18 日から 12 月 27 日にかけて、第 5 回特別展「発掘！縄文時代のむら—地獄田遺跡展—」を開催しました。市内はもとより県内外から多数の皆様にご来館いただきました。

地獄田遺跡は菖蒲町小林に所在する遺跡です。昭和 55 年に発掘調査が行われ、5 軒の縄文時代後期・晩期の住居跡が見つかりました。遺物としては多量の縄文土器のほか、勾玉や耳飾りなどのアクセサリ、石棒や土版のような祭祀遺物などが出土しました。

地獄田遺跡から出土した遺物は本館の常設展や企画展、埼玉県立歴史と民俗の博物館の常設展等で一部が紹介されたことがありましたが、今回の特別展は遺跡の全貌を紹介する初めての機会となりました。



特別展展示風景

以前、考古学の展示は土器や石器が並んでいるだけでよく分からないというご意見を耳にしました。そのため道具の使い方を図で示したり、当時の人々が主食にしていたドングリなどの堅果類を展示したり、土器の底に残された編み物の痕を再現するなど、視覚的に縄文時代をイメージしやすい展示を心掛けました。

そのなかで堅果類は、自ら採集して入手する必要がありました。ただし、何の木がどこにあるのか普段から気にしていたわけではありません。とりあえず探してみました。目的の木がなかなか見つかりません。そんな折、知人が子供とトチノミ拾いを行った様子をインターネットにアップしました。これ幸いと急いで連絡をとり、そのトチノミを分けてもらいました。また、クリとクヌギ、コナラは、栃木県佐野市の三轟山へハイキングに行った際、たまたま見つけて採集することができました。自然とともに生きていた縄文時代の人々と違い、いかに普段から自然に目を向けていないかと反省しました。

地獄田遺跡と同時期の遺跡として、市内には小林八束 1 遺跡や御陣山遺跡、道合遺跡、近隣では桶川市に後谷遺跡、鴻巣市に赤城遺跡、蓮田市に雅楽谷遺跡などがあります。今回の特別展では地獄田遺跡とこれらの遺跡の関係まで触れることができませんでした。今後、別の機会に紹介できればと思います。

(学芸員 池尻 篤)

わくわく体験型イベント！！

子ども歴史広場

子ども歴史広場として、7月31日（木）に昔体験、8月7日（木）に七夕飾り作り、8月21日（木）にまがたま勾玉作りを行いました。

昔体験では竹の水鉄砲を作ったり、万華鏡を作りました。七夕飾りでは折り紙で飾りをつくったほか、昔から伝わるマコモ馬を作りました。みんな楽しそうに作っていました。



水鉄砲作り

郷土資料館まつり

10月25日（土）・26日（日）、鷺宮図書館・郷土資料館まつりを開催しました。郷土資料館では、当館ボランティアの皆さんの解説により、25日には昔の道具を使ってみる「民具体験」、26日には昔の農具を使ってみる「農具体験」を行いました。民具体験ではさおばかり棹秤やせいめん製麵機、機械式計算機などを、農具体験ではせん千歯とうみこぎや唐箕などを体験してもらいました。



民具体験



勾玉作り

郷土資料館では、例年夏休みと郷土資料館祭りで体験型のイベントを行っています。

今後の予定は、次号以降の『笛の音』や市広報紙・ホームページなどでご確認ください。



農具体験

神楽の世界 ①

鷺宮神社に伝わるわしのみやさいぼらかぐら鷺宮催馬楽神楽は、国指定の重要無形民俗文化財となっており、久喜市の誇る伝統芸能です。当館の展示室1（常設展示）でもコーナーを設けて、催馬楽神楽を紹介しています。

この「神楽の世界」では、当館の特徴でもある催馬楽神楽についてシリーズで紹介していきます。第1回目は、催馬楽神楽の行われる日時です。催馬楽神楽は年6回、鷺宮神社神楽殿で行われています。

- 1月 1日 さいたんざい（歳旦祭）
- 2月 14日 としこしざい（年越祭）
- 4月 10日 しゆんき すうけいしやたいざい（春季崇敬者大祭）
- 7月 31日 なごしざい（夏越祭）
- 10月 10日 しゆんき すうけいしやたいざい（秋季崇敬者大祭）
- 12月初酉日 おおとりざい（大酉祭）

時間は午前11時頃から午後3時頃までです。1月1日は昼だけでなく、午前0時～午前2時頃（12月

31日夜中）にも行われます。

また、4月15日には市内のはつぼう八甫地区にある鷺宮神社でも行われています。八甫地区の神楽では、鷺宮神社では行われない演目（外 天津国津狐之舞）が行われます。

どちらも神社へ行けば見ることができますので、ぜひ現地で古くから伝わる神楽を体感してください。



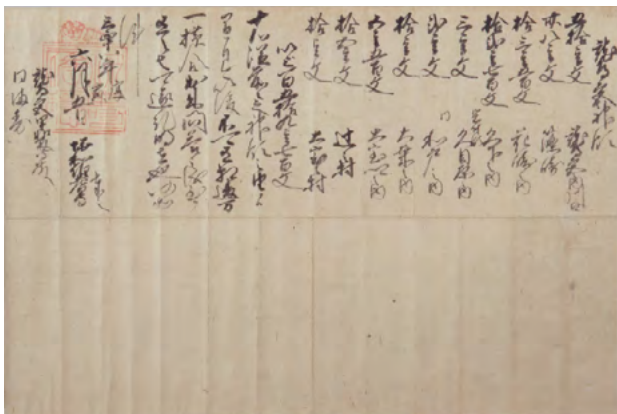
鷺宮催馬楽神楽

名品？珍品？

収蔵資料紹介 ①

北条氏印判状

— 秀吉が関東に攻めてきた!!



北条氏印判状

展示室1（常設展示）の中世コーナーに「北条氏印判状」の複製があります。天正18年（1590）6月5日付の後北条氏から鷲宮神社神主に出された文書で、神社の領地を今までどおり保障する内容となっ

ています。ここに出てくる地名として川口、篠崎、花崎、久下、大桑、大室、辻（以上、現加須市）、久目原（糸原）、和戸（以上、現宮代町）があります。当時、鷲宮神社の領地がどこにあったのかが分かる面白い文書です。

また、もう一つの面白い点は、この文書が出された年月日です。天正18年6月は、豊臣秀吉の軍勢によって後北条氏の本拠地である小田原城が包囲されていた時期です。また、6月初旬は小説『のぼうの城』で有名になった忍城攻めが始まった時期でもあります。この文書が出された1ヶ月後の7月5日に後北条氏は降伏しており、後北条氏にとっては家の存亡がかかる重要な時期でした。この文書がこの時期に出された理由は、後北条氏についていた鷲宮神社が敵である豊臣秀吉に寝返ることがないように、引き留める意味合いがあったと考えられます。

（池尻）

ご利用ください

◎神楽ライブラリー

郷土資料館では、全国の神楽資料（図書・ビデオ）をはじめとして、歴史や文化財系の事典類、主に埼玉県内の博物館図録、自治体史（県史・市町村史）、文化財報告書などを所蔵しています。これらの図書・ビデオは「神楽ライブラリー」として、自由にご覧いただけます。神楽のビデオについては、貸出しを行っています（図書資料の貸出しは行っていません）。歴史や文化財を調べる際にぜひご利用ください。



◎レファレンスサービス

歴史や民俗などの学習支援として、学芸員が調べ方などのご相談に応じるレファレンスサービスを行っています。分からないことがありましたら、お気軽にご相談ください。

なお、学芸員が不在の場合は対応できないことがありますので、事前にお電話等でご確認くださいようお願いいたします。

今までにご相談いただいた例

- 自分の住んでいる地区がどういう歴史を歩んできたのか知りたい
- 江戸時代以前の利根川の流れを知りたい
- 神楽がいつから行われているか知りたい
- 家に古い書き物があるが、どのように保管したらよいか知りたい

東部地区文化財担当者会巡回展

埼玉・北埼玉の水塚

平成 27 年 3 月 3 日 (火) ~ 3 月 31 日 (火)

水塚は、水害から命を守る避難施設です。敷地の一角を高くし、蔵などを建てました。

久喜市も加盟している東部地区文化財担当者会では、平成 18 年度から同 25 年度にかけて埼玉・北埼玉地区の水塚を調査・研究しました。本展では、その成果をパネルで紹介합니다。



久喜市指定文化財「吉田家水塚」

第 2 回 文化財歴史講座

平成 27 年 3 月 14 日 (土) 9:30 ~ 12:10

①幕府代官と栗橋関所

講師 三野行徳さん (東洋英和女学院大学)

②発掘調査からみた日光道中と栗橋宿

講師 栗岡潤さん (埼玉県埋蔵文化財調査事業団)

対象 市内在住・在学・在勤の方

会場 郷土資料館 定員 30 名 (申込順)

文化財保護課 (TEL 0480-85-1111 内線 372)

で 2 月 25 日 (水) から受け付けます。

編集後記

久喜市立郷土資料館だより「笛の音」の創刊号をお届けします。初めての編集のため見づらいところもあるかと思いますが、ご容赦ください。

ご意見・ご感想がありましたら、郷土資料館までお寄せください。

久喜市立郷土資料館だより

笛の音

創刊号

発行 平成 27 年 (2015) 2 月 24 日

久喜市立郷土資料館

〒 340-0217

埼玉県久喜市鷺宮 5-33-1

電話 0480-57-1200

e-mail kyodoshiryokan@city.kuki.lg.jp

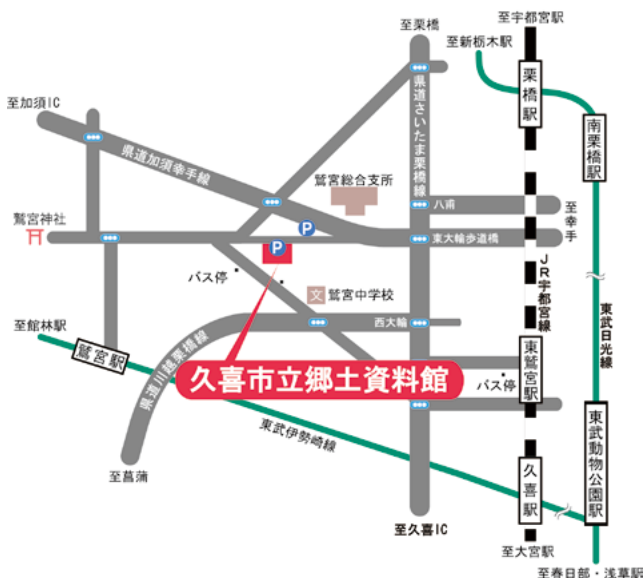
URL <http://www.city.kuki.lg.jp/>

開館時間 午前 10 時 ~ 午後 6 時

休館日 月曜日 (祝日除く)、年末年始、祝日の翌日、月末金曜日、その他

入館料 無料

※有料の特別展を開催する場合があります



電車で

■東武伊勢崎線 鷺宮駅下車 徒歩 15 分

■JR宇都宮線 東鷺宮駅下車「加須川口循環」行きバス「図書館入口」下車 徒歩 2 分

自動車

■東北自動車道 加須インターから 15 分

久喜インターから 15 分